



はじめに

新潟市は、多様な歴史と独自の文化をもった14市町村による合併を経て、平成19年4月に本州日本海側初の政令指定都市として新たな船出をいたしました。

今日のわが国を取り巻く状況は大きく変化しており、さまざまな分野での国際化や地方分権の一層の推進、人びとの価値観の多様化などの一方で、かつての急成長が期待できない国内経済や、少子高齢化の急速な進展、環境問題に対する関心の高まりなど、迅速かつ着実に対応すべき課題が生じています。

このような時代の潮流の中で、本市は、恵まれた自然や田園と高次都市機能が共存する特性を活かしながら、国内外との交流を拓げるとともに、都市内分権や市民協働を推進し、これまでにない新しいタイプの大都市を築いていくため、「田園とみなとまちが恵みあい、共に育つまち」を基本理念とし「人びとの英知が集う、日本海交流開港都市」を目指すまちの姿とする「新・新潟市総合計画」を策定いたしました。

この計画は、市政運営の基本指針として、合併建設計画や新・新潟市合併マニフェストを踏まえながら、平成26年度を目標とする長期的な視点に立って策定した、本市のまちづくり計画です。

本市は、この計画に基づき、地域の特性を活かしてそれぞれの魅力を高め、互いに連携しながら市全体の一体的な発展を進めるとともに、東アジアに向きあう日本海側の拠点都市として国内外との多様な交流を推進して、新潟に暮らしてみたい、新潟に暮らして良かったと実感できる「世界都市新潟」の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

市民の皆さまをはじめ関係諸団体のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

結びに、この計画の策定に当たり、熱心にご審議、ご検討いただきました新潟市総合計画審議会の委員の皆さまをはじめ、市民提案・各種アンケートやワークショップなどで貴重なご意見をいただきました多くの皆さまに、心から感謝申し上げます。

平成19年4月

新潟市長 篠田 昭